

[ 令和7年度 ]

# 民間事業者を活用した 課外学習支援事業（大正区夏期講習） つつい塾 実施報告

株式会社 プラウ



# 目次

---

01

## つつい塾概要

事業実施の基本情報 / 参加者内訳 / 日ごとの参加と継続率

02

## 実施内容と様子

イベントの当日の様子

03

## 効果検証

アンケート結果（定量） / 自由記述項目（定性）

04

## 成果と今後の課題

成果と今後の課題 / 収支と還元 / 今後の展望

## 事業実施の基本情報

### 大正区夏期講習《つつい塾》

本事業は、大正区の方針に基づき「基礎学力の定着・学力向上・学習習慣の形成」を目指し、小学生には「学ぶ楽しさ」を重視して設計しました。

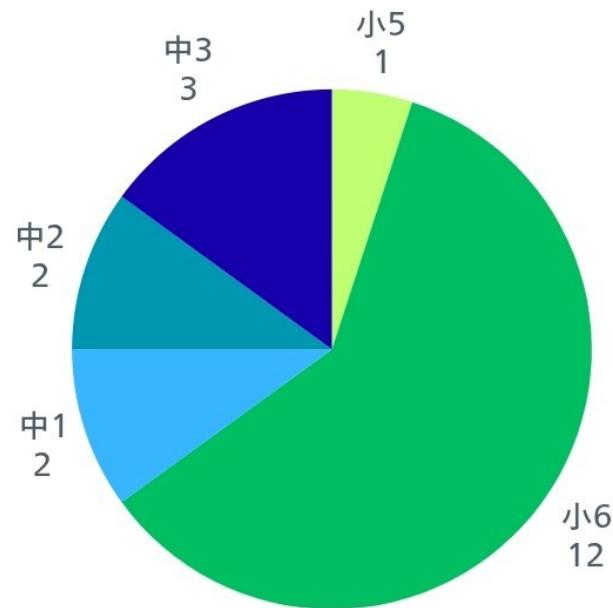
本日の報告では、①実施内容と子どもたちの姿、②成果と課題、③今後の展望を共有し、今後の学校教育や区事業に生かしていただけることを目的としています。

#### ■ 概要

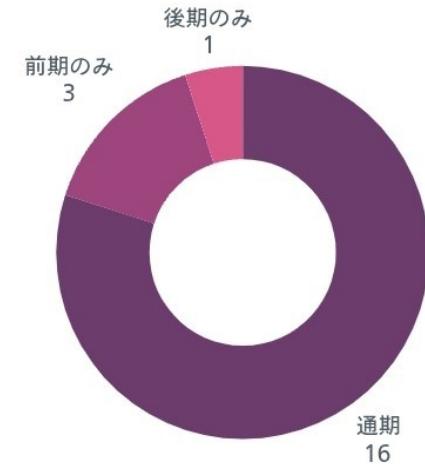
|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 対象   | 小5~中3                              |
| 日程   | 前期7/22・28~30<br>後期8/18・20~22（計8日間） |
| 会場   | 大正会館2階（113m <sup>2</sup> ・定員40名）   |
| 料金   | 10,000円/1期（塾代助成利用可）                |
| 講師体制 | 大学生・社会人+高校生サポート                    |

## 参加者内訳（単位：人）

[学年別構成数]



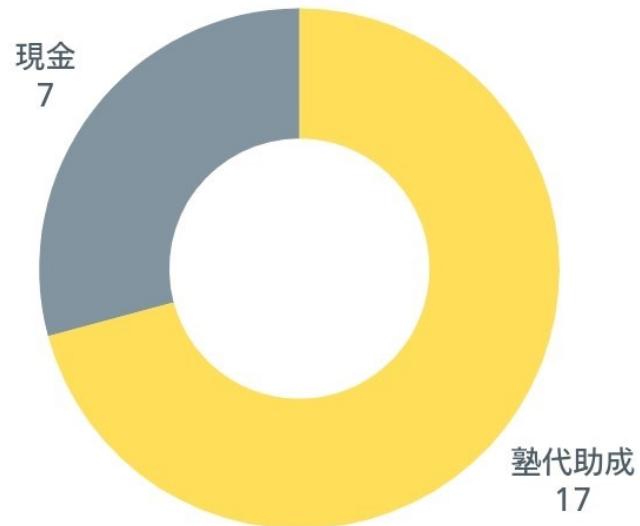
[申込形態]



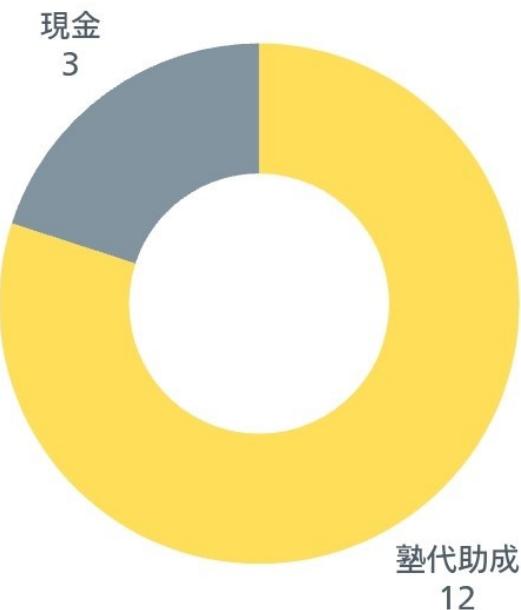
|      | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|
| 前期のみ | 0  | 3  | 0  | 0  | 0  | 3  |
| 後期のみ | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 1  |
| 通期   | 1  | 8  | 2  | 2  | 3  | 16 |
| 合計   | 1  | 12 | 2  | 2  | 3  | 20 |

## 塾代助成利用者（単位：人）

[ 小学生 ]



[ 中学生 ]



他の習い事との塾代助成併用

- 小学生で2件、中学生で1件 他の習い事との併用により1万円未満での利用(差額現金)があった。

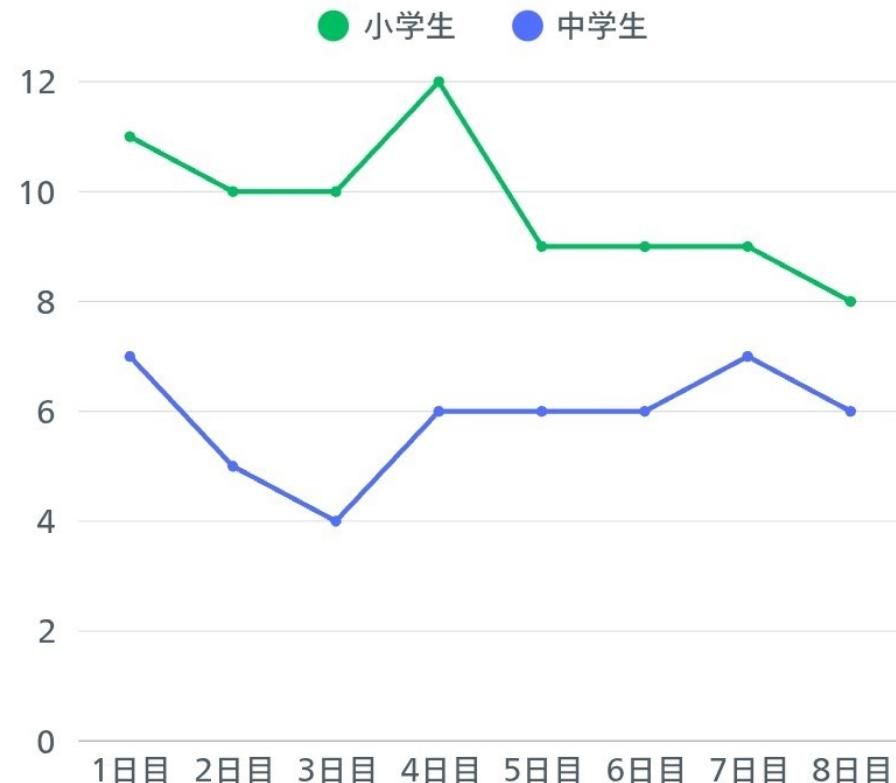
## 日ごとの参加人数と継続率

### 出席・継続率は安定

- ・前期：小学生12名／中学生7名
- ・後期：小学生10名／中学生7名

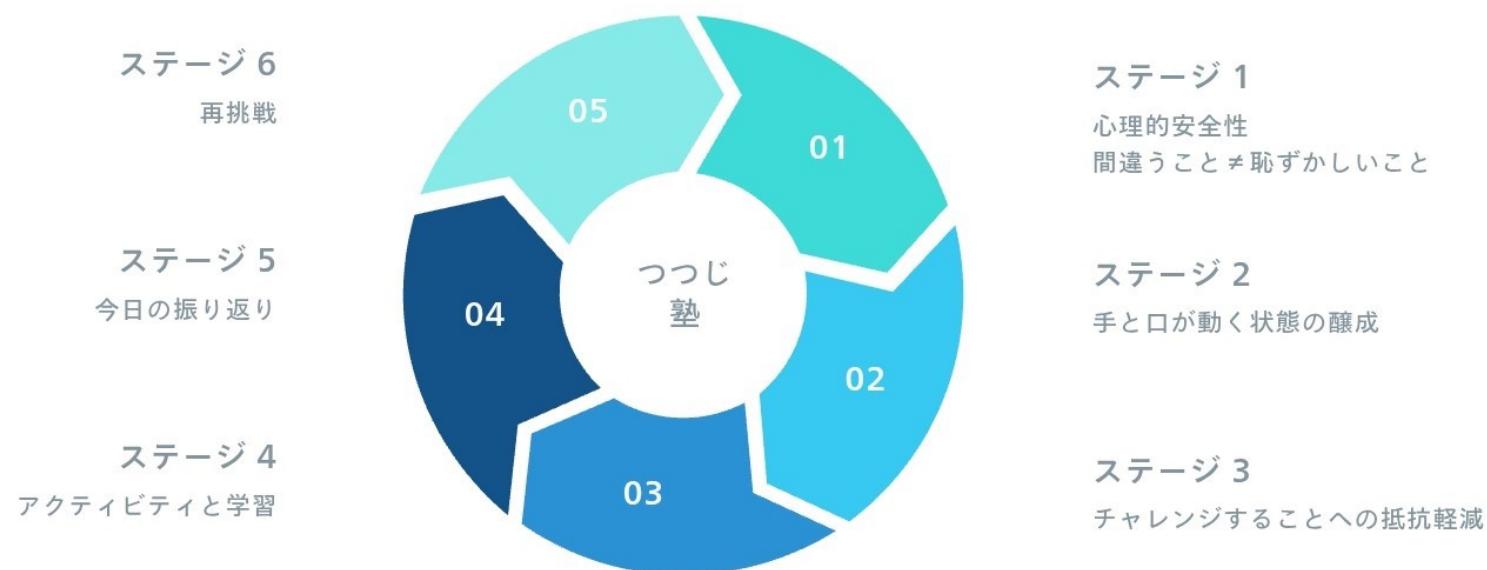
毎日安定して参加があり、無連絡の欠席事案は0件でした。欠席理由は①部活動等習い事②体調不良③家庭の事情（用事）の3つでした。

前期のみで申込後、後期を追加で受講する事例もありました。



# 授業設計の考え方

つつじ塾では、最初に“安全地帯”をつくります。安心が生まれると、子どもたちは手と口が自然に動きだし、小さな挑戦を重ねられるようになります。挑戦は「できた」に変わり、学習（プリント／テスト）へ向かう意欲が立ち上がります。最後に振り返りで言語化し、次回の行動に橋をかけます。



# 小学生の取り組み例

## 構成

アイスブレイク ペーパータワー

協働 図形パズル

学習 面積計算プリント

## 構成

学習 割合計算の授業

協働 模擬お買い物ゲーム(割引計算)

振り返り 計算をもっと早く正確にするためには?

アクティビティから学習へ



- ペーパータワー：失敗の共有→“もう1回やりたい！”の声 → 手が動き続ける空間へ。
- お買い物競争：割合の学習 → 計算方法を実践の場へ → 確認小テスト

# 中学生の取り組み例

## 構成

アイスブレイク 英語でイラストクイズ

協働 英作文 ブレスト競争

学習 一般動詞ミニテスト

## 構成

アイスブレイク ペーパータワー

協働 英文の方程式を解く

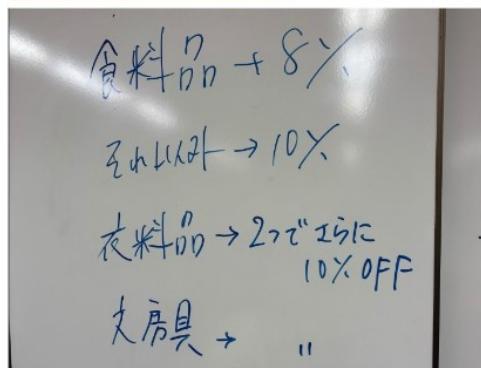
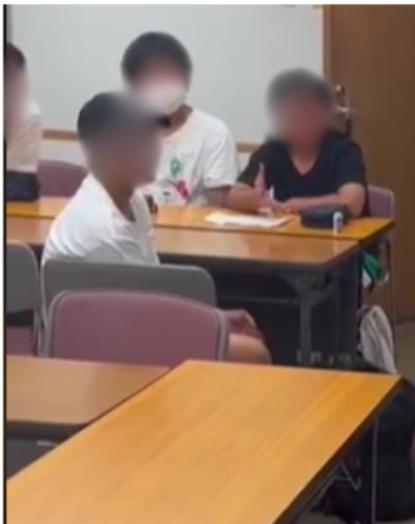
協働 公立入試型数学プリント

## 設計メモ

- 小学生用課題からの昇華：アクティビティ中の日本語禁止，ペーパータワーに重いものを乗せても耐えられるか？など
- 少人数制：より“全員”が参加できる課題設計へ。ひとりひとりが自由に発言できる雰囲気作り。



## 子どもたちの様子



① 今日の授業で「わかった！」 「おもしろい！」と思ったことは何ですか？  
割合の考え方、分数のやり方がわかった！ 

② うまくいかなかったこと や もう少し頑張れそうだと思うことは?  
すぐに理解を出来るようになりたい！

③ グループ活動で 自分はどんな役割ができましたか？  
箱を作った係！

## 効果検証（定量項目）

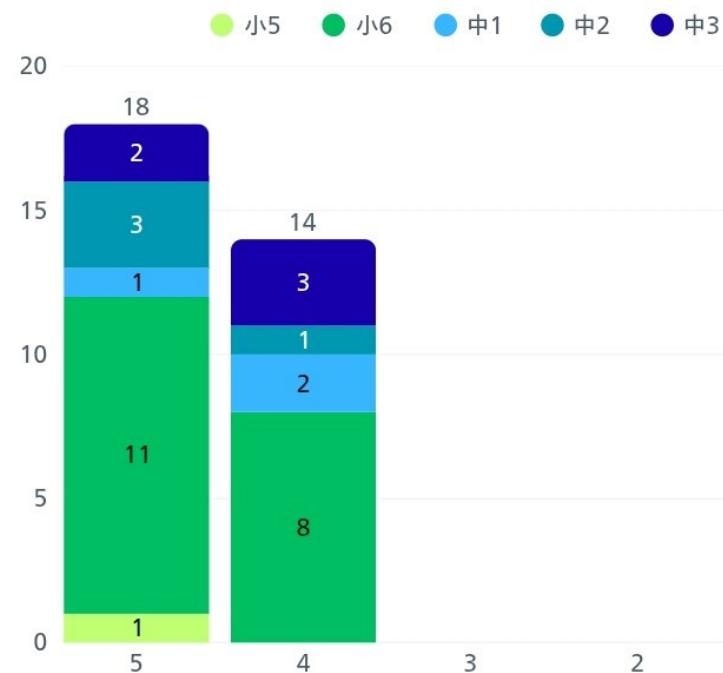
[アンケート回答者/参加生徒のべ]

# 32人 / 36人

アンケートは前期後期それぞれ4日目に実施しました。  
それに伴って、その日の欠席生徒はアンケート未回答です。  
以降のアンケート結果はそれに答えた32人の回答を集計したものです。

[91.2%が参加して良かった]

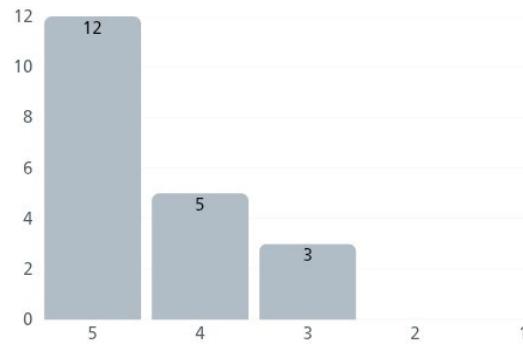
5点満点で評価 (N=32)



# 効果検証（定量項目）

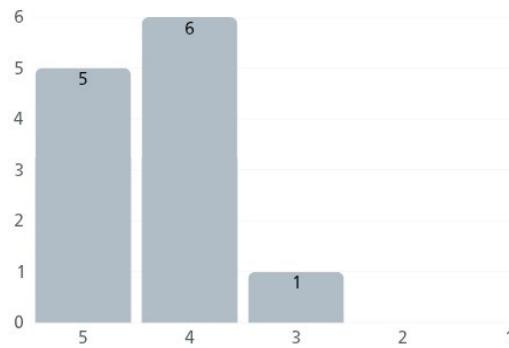
[ (小)勉強って楽しいと思えたか ]

5点満点で評価 (N=20)



[ (中)学習内容が分かるようになったか ]

5点満点で評価 (N=12)



## ■ 詳細アンケート

質問がしやすかったか

小学生 : 4.60点

中学生 : 4.67点

授業内容や先生は自分に合っていたか

小学生 : 4.75点

中学生 : 4.33点

教え合いの機会があったか

小学生 : 4.75点

中学生 : 4.42点

学校との違いを感じたか

小学生 : 4.80点

中学生 : 4.83点

次回も参加したいか

小学生 : 4.40点

中学生 : 4.42点

# 自由記述項目（定性項目）

## ■ 最終日アンケート自由記述

いい経験になった、勉強が楽しかった。等



## ■ 各日各人振り返りシート

計算ミスを減らしたい、英語をもっと読めるようになりたい。等

**今日の自分 振り返りシート**

今日は何で「わかった」「わもししい」と思ったことは何ですか？

1 色々な単語がわかった  
2 うまくいかなかったことやもう少し理解できただと思うことは？  
3 グループ活動で自分がどんな役割ができましたか？  
4 次の授業ではどんなことを意識して取り組みたいですか？

英語をがんばる意識

**今日の自分 振り返りシート**

今日は何で「わかった」「わもししい」と思ったことは何ですか？

1 今日の授業で「わかった」「わもししい」と思ったことは何ですか？  
2 うまくいかなかったことやもう少し理解できただと思うことは？  
3 グループ活動で自分がどんな役割ができましたか？  
4 次の授業ではどんなことを意識して取り組みたいですか？

がんばる

**今日の自分 振り返りシート**

今日は何で「わかった」「わもししい」と思ったことは何ですか？

1 今日の授業で「わかった」「わもししい」と思ったことは何ですか？  
2 うまくいかなかったことやもう少し理解できただと思うことは？  
3 グループ活動で自分がどんな役割ができましたか？  
4 次の授業ではどんなことを意識して取り組みたいですか？

おもいきはく

**今日の自分 振り返りシート**

今日は何で「わかった」「わもししい」と思ったことは何ですか？

1 今日の授業で「わかった」「わもししい」と思ったことは何ですか？  
2 うまくいかなかったことやもう少し理解できただと思うことは？  
3 グループ活動で自分がどんな役割ができましたか？  
4 次の授業ではどんなことを意識して取り組みたいですか？

ちがは

# 成果と今後の課題

## 成果

- ・参加者20名、最終日までの継続率8割超（無連絡欠席0）と安定した受講実績
- ・アンケート平均4.5点以上、9割が「楽しい・分かるようになった」と回答
- ・子どもたち同士の自然な質問・教え合いが日常的に発生
- ・アクティビティを通じて心理的安全性が確立し、失敗を恐れず挑戦できる空気を醸成
- ・「手を動かす・口に出す→気づきをプリントへ→振り返り」という学びの循環が定着
- ・学年や教科を超えた協働が成立し、異学年交流の教育的価値を確認
- ・高校生スタッフの参画により「近いロールモデル」が子どもたちの憧れとなった

## 今後の 課題

- ・アクティビティでの学びをペーパーテスト成果へ接続する仕組みの強化
- ・得意不得意や進度差に応じた学習負荷の最適化
- ・特定の講師や雰囲気に依存しない再現性ある授業デザインの確立
- ・広報面では自社配布より学校配布が断然効果的だったため、区や学校との連携をさらに強化
- ・アンケートや行動ログなど定点的なデータ収集を行い、成果を数値でより明確に可視化する体制づくり

### 学力に対する気付き

小学生では、英語スペルの知識や、割合・単位換算の定着にはらつきがあり、中学生では英語の語順や数学の基礎計算でつまずきが散見された。ただし、心理的安全性が確保されると短時間で発話や教え合い、再挑戦が生まれ、学び方の工夫により改善可能性が高いことを確認した。

## 今後の展望

01

### 広報

自社配布よりも「学校配布チラシ」が圧倒的に有効。受講者増を目指すならば、区との連携強化が不可欠

02

### 学習支援

学校の学習状況や成績傾向が事前に共有されれば、より効果的な学習支援が可能

03

### 展望

公共と民間が連携することで、子どもたちを地域全体で支える仕組みへ。このつつじ塾の成果をより広く周知させていきたい。

## メッセージ

### 心より感謝申し上げます。

つつじ塾は「学力支援」を超えて、子どもたちに「学びの楽しさ」と「協働する喜び」を提供しました。

ご支援いただいた大正区の皆さんに深く感謝申し上げます。

今後も地域と共に子どもたちの学びを支える取り組みを続けてまいります。

株式会社プラウ / 山本 健登

